

県立短期大学の現状等について

目次

- 1 概要
- 2 沿革
- 3 機構
- 4 鹿児島県教育振興基本計画(抜粋)
- 5 入学募集人員及び受験者数等
- 6 入学者が定員を下回っている学科・専攻
- 7 入学者の出身地
- 8 第一部卒業生の進路
- 9 県立短期大学生の就職状況
- 10 業種別就職先

1 概要

(1) 名称 鹿児島県立短期大学(鹿児島市下伊敷1丁目52番1号)

(2) 学科及び現員(令和6年4月1日現在)

課程	学科		定員		現員			
			入学定員	総定員	1年	2年	3年	計
第一部 (昼間課程)	文学科 (文科)	日本語日本文学専攻	30	60	28 (5)	31 (7)	-	59 (12)
		英語英文学専攻	30	60	26 (5)	30 (3)	-	56 (8)
	生活科学科 (家政科)	食物栄養専攻	30	60	30 (0)	32 (1)	-	62 (1)
		生活科学専攻	30	60	32 (1)	20 (0)	-	52 (1)
	商経学科 (商経科)	経済専攻	35	70	36 (12)	38 (2)	-	74 (14)
		経営情報専攻	40	80	39 (9)	47 (5)	-	86 (14)
小計		195	390	191 (32)	198 (18)	-	389 (50)	
第二部 (夜間課程)	商経学科		60	180	41 (14)	50 (22)	67 (27)	158 (63)
合計			255	570	232 (46)	248 (40)	67 (27)	547 (113)

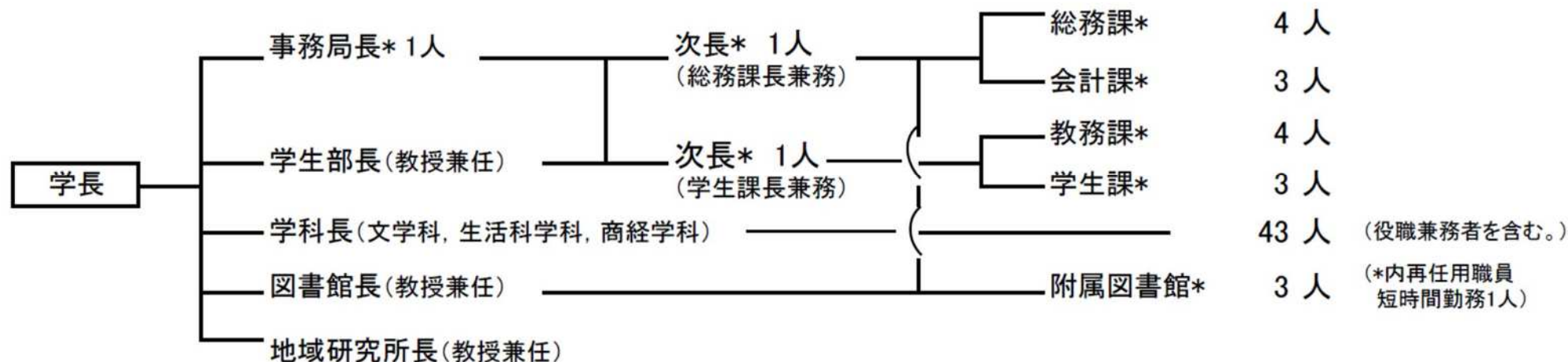
※括弧書きは男子生徒数

(3) これまでの卒業生数(令和6年3月末現在)
16,967人(一部 13,321人, 二部 3,646人)

2 沿革

- 大正11年 県立第一高等女学校専攻科として発足
- 昭和22年 県立女子専門学校の設立
- 昭和25年 県立大学短期大学部として発足(男女共学化)
学科(文科・家政科・社会科の3科)
- 昭和26年 社会科を商経科と改名, 同科第二部設置
- 昭和33年 県立短期大学と改称
- 昭和52年 家政科(食物栄養専攻・被服専攻)設置
- 昭和53年 文科(国文専攻・英文専攻)設置
- 昭和57年 第一部商経科入学定員 30人→50人変更
- 平成元年 家政科の両専攻入学定員 25人→30人変更
第一部商経科入学定員 50人→75人変更
- 平成 7年 学科改組 学科・専攻名称を変更第一部商経学科(経済専攻・経営情報専攻)設置
- 平成14年 授業交流(単位互換)に関する協定締結授業交流を始める
(県内大学・短大9大学等間)

3 機構(令和6年4月1日現在)



- ・ 教職員 44人 (学長 1人, 教授 19人, 准教授 15人, 講師 3人, 助教 6人)
- ・ 事務職員 20人 *のついた職員
- 計 64人

4 鹿児島県教育振興基本計画(令和6年2月策定)(抜粋)

第4章 今後5年間に取り組む施策

Ⅲ-⑩ 魅力ある県立短期大学づくり

1 現状と課題

- 県内の高等教育機関は、人材育成や産業振興など、地方創生にとって重要な役割を担うことが期待されており、県立短期大学については、将来の鹿児島を支える人材を育成する場として、時代の要請に対応した教育内容や教育方法の充実などが必要となっています。また、地域や社会の知の拠点として、住民の生涯学習を支援するとともに、地域や社会の課題を共に解決し、地域の活性化へ積極的に貢献することが求められています。
- 予測困難で変化の激しい時代を迎え、教育の高度化に不可欠な教育DXと、その推進に有効な手段として期待されている生成AIをはじめとする技術革新やグローバル化が、さらに進展するとみられます。それに加え、本格的な人口減少社会が到来する中で、高等教育においては、学生に幅広い知識と教養、主体的に時代の変化に対応しつつ学んだ知識・技能を実践・応用する力、更には、自ら問題の発見・解決に取り組む力を育成することが重要となっており、県立短期大学においても、これらの力を育成する取組をさらに強化する必要があります。

2 これからの施策の方向性

- 予測困難で変化の激しい時代の要請に対応するとともに、持続可能な社会の創り手を育成するため、鹿児島の魅力を活かす教育、高度情報化やグローバル化に対応する教育など、時代の要請に対応した教育内容や教育方法の充実などに取り組むとともに、地元企業等と連携した人材の育成及び定着に取り組み、地域住民のリカレント教育にも貢献する魅力ある県立短期大学づくりを推進します。

5 入学募集人員及び受験者数等

第一部の受験者数は年々減少傾向にある。

区分		入学定員(人) a	受験者数(人) b	合格者数(人) (追加合格者含む)	受験倍率 b/a	入学者数(人)
第一部	H29	195	510	374	2.6	222
	H30	195	494	354	2.5	230
	R1	195	544	383	2.8	223
	R2	195	491	375	2.5	226
	R3	195	438	343	2.2	219
	R4	195	457	363	2.3	214
	R5	195	356	307	1.8	192
	R6	195	362	337	1.9	191
第二部	H29	60	55	55	0.9	53
	H30	60	55	55	0.9	53
	R1	60	68	66	1.1	63
	R2	60	75	67	1.3	59
	R3	60	62	62	1.0	57
	R4	60	65	62	1.1	58
	R5	60	55	55	0.9	53
	R6	60	48	47	0.8	41

6 入学者が定員を下回っている学科・専攻

一部の学科・専攻では、入学者数が募集人員を下回っている。

定員割れしている学科

令和5年度入試

学科・専攻		入学定員 A(人)	受験者 B(人)	正合格者 C(人)	入学辞退者 D(人)	追加合格者 E(人)	入学者 C-D+E=F(人)	定員割れ F-A(人)
文学科	日本語日本文学専攻	30	61	57	29	0	28	▲2
	英語英文学専攻	30	72	56	33	5	28	▲2
生活科学科	生活科学専攻	30	29	29	8	0	21	▲9
第二部商経学科		60	55	55	2	0	53	▲7

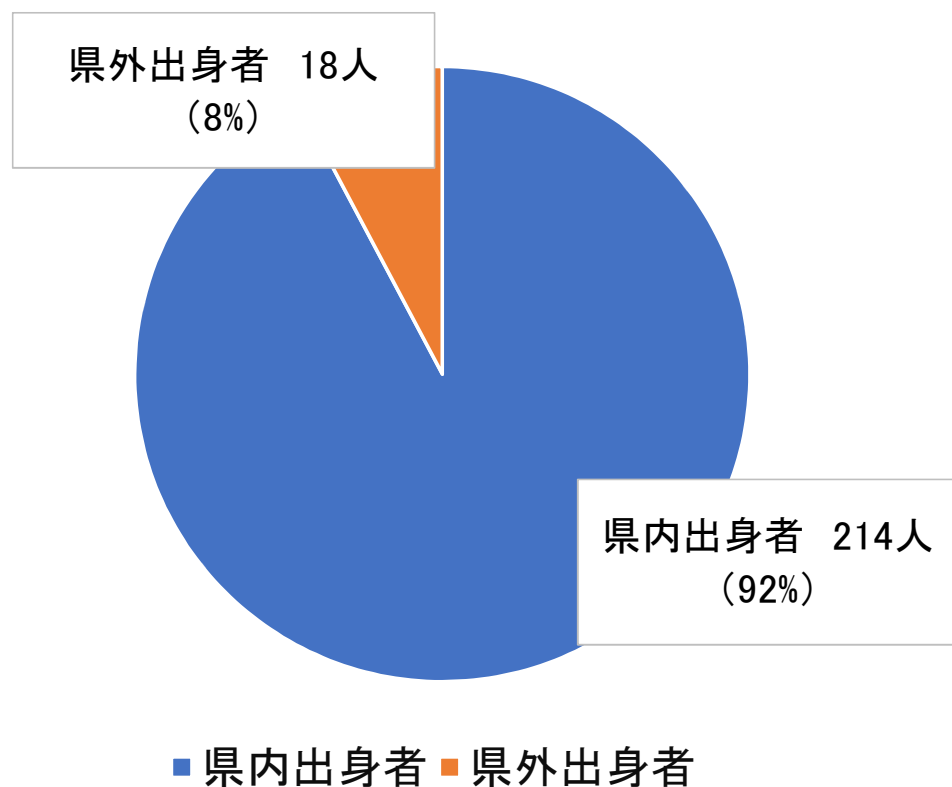
令和6年度入試

学科・専攻		入学定員 A(人)	受験者 B(人)	正合格者 C(人)	入学辞退者 D(人)	追加合格者 E(人)	入学者 C-D+E=F(人)	定員割れ F-A(人)
文学科	日本語日本文学専攻	30	77	68	41	1	28	▲2
	英語英文学専攻	30	72	71	45	0	26	▲4
商経学科	経営情報専攻	40	53	50	11	0	39	▲1
第二部商経学科		60	48	47	6	0	41	▲19

7 入学者の出身地(令和6年度)

令和6年度県立短期大学の入学者の9割以上が県内出身者。
県外出身者は、隣接県(熊本県及び宮崎県)が多い。

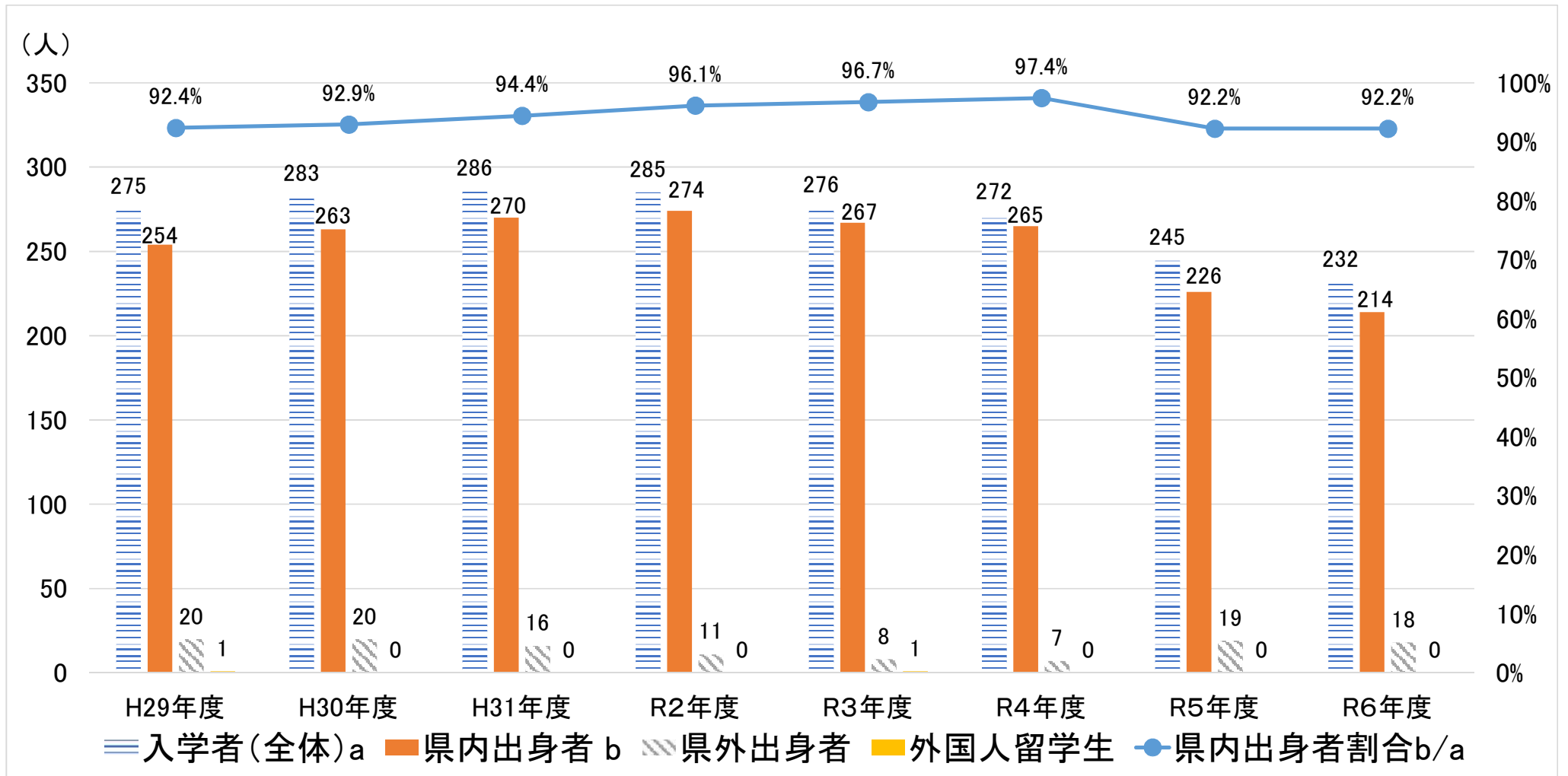
令和6年度入学者(232人)



入学者内訳(令和6年度入学)

地域	入学者数(人)	割合(%)
北海道・東北	1	0.4
関東	0	0.0
中部	0	0.0
近畿	2	0.9
中国	2	0.9
四国	0	0.0
九州・沖縄(鹿児島県除く)	13	5.6
福岡県	0	0.0
佐賀県	0	0.0
長崎県	0	0.0
熊本県	5	2.2
大分県	0	0.0
宮崎県	7	3.0
沖縄県	1	0.4
鹿児島県	214	92.2
計	232	100.0

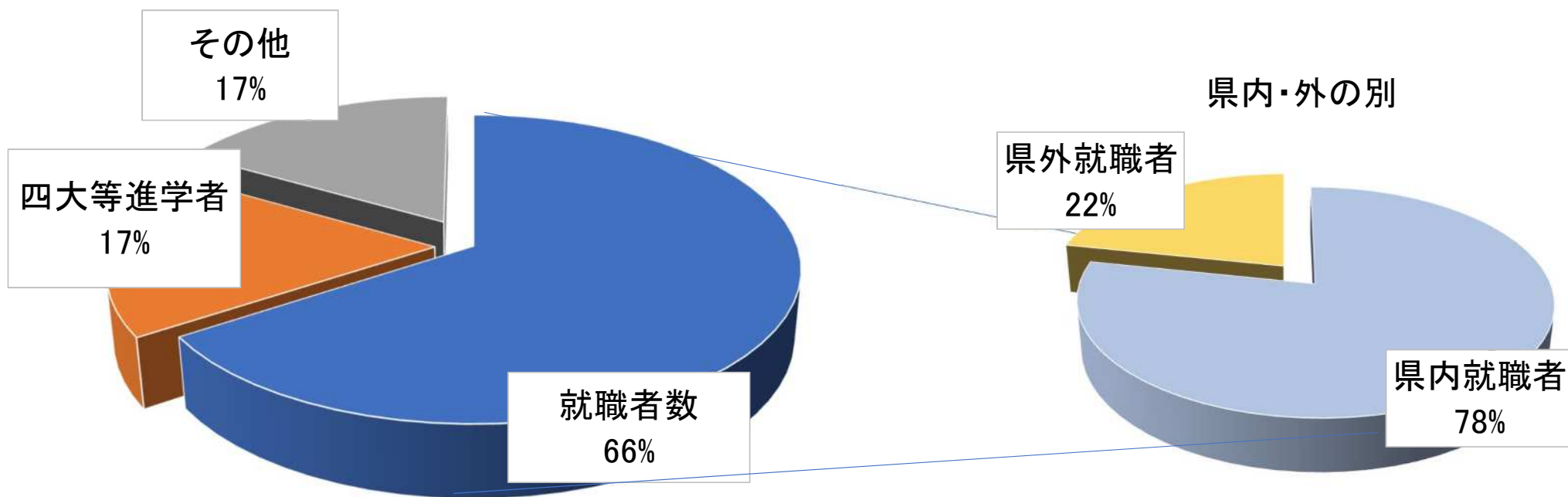
7 入学者の出身地(平成29年度～令和6年度推移)



8 第一部卒業生の進路(令和5年度3月卒業生)

卒業生の約7割が就職し，約2割が四年制大学等に進学している。

卒業生進路



9 県立短期大学生の就職状況

卒業生の就職先の概ね8割が県内となっており、若年者の県内定着に貢献しているが、令和5年度は前年度から10.1ポイント減少していることから、県内就職者の増加に向けた更なる取組が必要である。

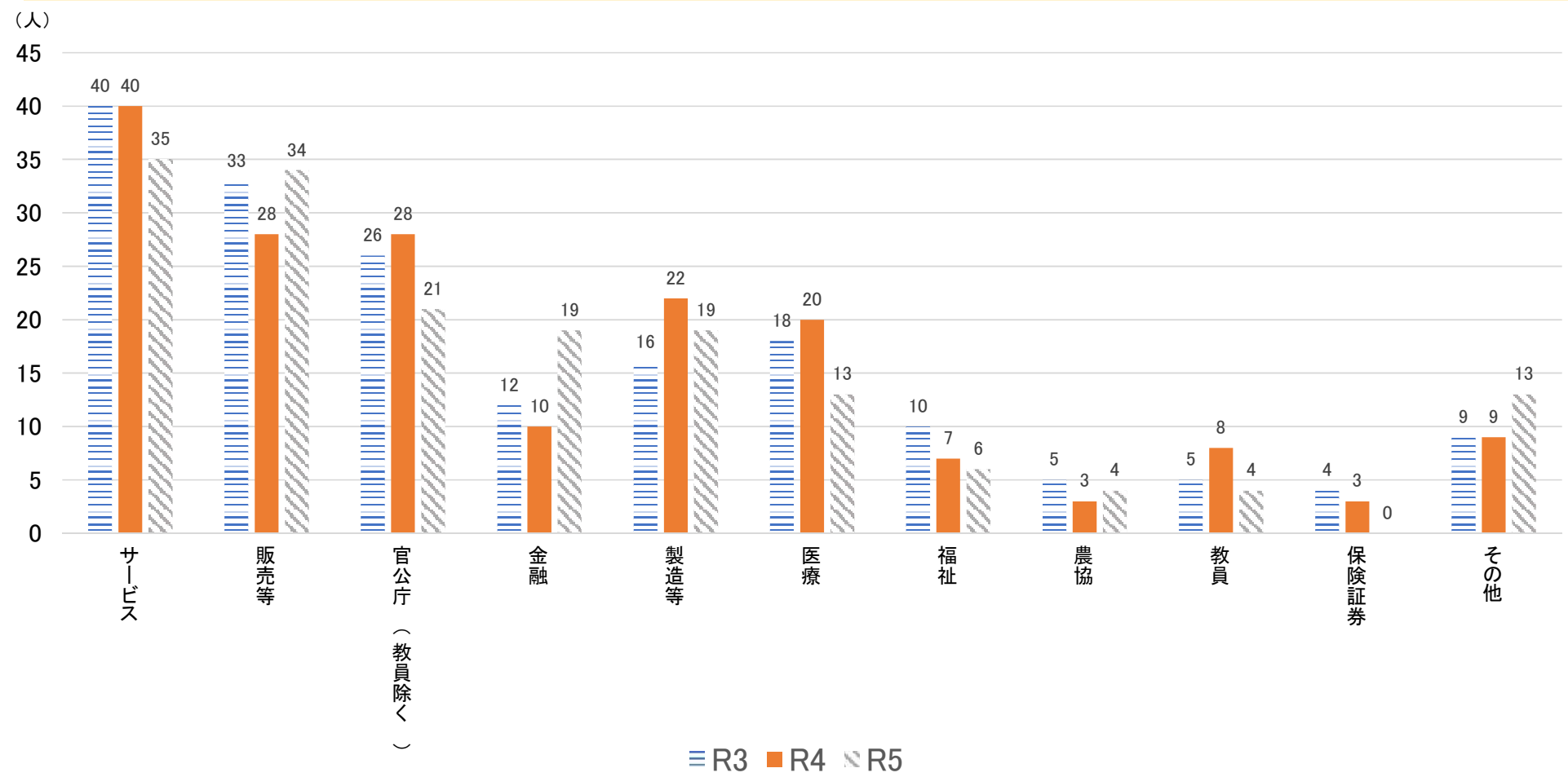
※「第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)/(令和2年度～9年度)」では、「県立短期大学卒業生の就職者数に対する県内就職率:85.0%(直近5年間の県内就職率)以上」を目指す結果としている。

卒業年月	県内四大卒者			県内短大卒者			県立短期大学卒業生		
	就職内定者 (人)	うち県内 (人)	県内就職内定率 (%)	就職内定者 (人)	うち県内 (人)	県内就職内定率 (%)	就職内定者 (人)	うち県内 (人)	県内就職内定率 (%)
H29.3	1,726	863	50.0	817	692	84.7	153	120	78.4
H30.3	1,740	852	49.0	761	643	84.5	157	127	80.9
H31.3	1,750	782	44.7	705	589	83.5	154	129	83.8
R2.3	1,706	795	46.6	695	559	80.4	175	139	79.4
R3.3	1,591	759	47.7	668	574	85.9	155	133	85.8
R4.3	1,489	748	50.2	568	513	90.3	153	133	86.9
R5.3	1,562	816	52.2	542	478	88.2	146	129	88.4
R6.3	1,555	718	46.2	511	417	81.6	138	108	78.3
平均	1,640	792	48.0	658	558	84.8	154	127	82.3

※「県内四大卒者」「県内短大卒者」は鹿児島労働局調べ、「県立短期大学卒業生」は県立短期大学調べ

10 業種別就職先(令和3年度～令和5年度)

卒業生の多くがサービス, 販売等, 官公庁(教員を除く)に就職している。



※就職者は第一部及び第二部の学生を対象